

伝えよう、三計と半九の教え

平成30年度11号(12・1月号)

そっ けん

息軒だより



発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会
理事長 若友 弘子 館長 川口 眞弘
〒889-1606
宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378-1
e-mail: sokken.yasui@pic.bbiq.jp
http://yasuisokken.qcweb.jp/

所在地 宮崎市清武町加納甲 3378-1 電話: 0985-84-0234 FAX: 0985-84-2634

平成30年度企画展「自由民権運動と安井息軒の弟子たち」

このたび宮崎市安井息軒記念館では「自由民権運動と安井息軒の弟子たち」と題して企画展を開催する運びとなりました。明治維新150周年で盛り上がりを見せた平成30年。新年は、その先の歴史を学んでみませんか。

安井息軒は門戸を大きく開き、さまざまな志の人を受け入れていました。今まで息軒の弟子と言えば、井上毅、谷干城、陸奥宗光、三好退蔵など主に明治政府側の要人が注目されてきましたが、明治政府と立場を異にする自由民権運動に関わった弟子もいました。今回メインで取り上げるのは、五日市憲法の起草者・千葉卓三郎と、北海道の民権家・本多新です。この弟子たちに触れることで、新たな息軒の一面も探っていきます。

資料として、「板垣死すとも自由は死せず」の名言で有名な「岐阜事件」で、板垣退助を襲った犯人が使用した凶器の短刀(複製)などを展示します。

自由民権運動に関連して、多くの結社や政党が誕生し、その時期にはたくさんの出来事がありました。内容を理解するにはややこしく、受験生泣かせの分野ともいえます。自由民権運動の流れがよく分からないという高校生や、歴史に関心のある大学生の皆さんにもおすすめの企画展です。

政党の移り変わりなど、いまひとつ理解できないといった方には、学芸員が解説しますので、お気軽にお声がけください。

とはいえ、教科書ではたった数行で終わってしまう出来事です。しかし、近代日本の基礎が創られたこの時期の政治課題は、驚くほど現代の社会でもいまだ解決をみない問題が多いことが分かります。自由民権運動を知ることのおもしろさが、今回の企画展で少しでも伝われば幸いです。(文責: 下村)



2019年
1月19日(土)
～3月10日(日)

開館時間/午前9時～午後4時30分

休館日/毎月曜日(祝日の場合は開館)

観覧料/無料